

山本学区社会福祉協議会 広報部

令和7年7月31日発行

vol.122

〈編集〉

山本学区社会福祉協議会

広報部

Tel (082)874-8218

CONTENTS

- ①民生委員・児童委員はどんなことをするの？
- ②委員会制を部制に移行/8・20やまもといのちをつなぐ集い
- ③やまもとふれあい祭り/ふれあいカフェやまもと/盛り上がった自主防災訓練
- ④令和6年度事業実施報告及び令和7年度事業計画
- ⑤令和6年度収支決算報告書並びに令和7年度予算
- ⑥令和7年度役員名簿/優勝・入賞おめでとうございます/これからの地域の催し物/寄付

民生委員・児童委員は どんなことをするの？



山本地区民生委員
児童委員協議会
会長 中田 秀穂

山本地区民生委員児童委員協議会の会長を、田村前会長から昨年12月に引き継がせていただきました。

民生委員・児童委員を拝命しまして今年で10年になりました。私たちがどのような活動をしているのか、あまり御存じない方もいらっしゃると思いますので、御挨拶を兼ねて、主な活動の一端を具体的に紹介させていただきます。

一つ目は、65歳以上の一人暮らしで、近くに身内がいらっしゃらない方々を対象に、ご本人の了解が得られた場合、月に一度訪問してお話ししたり、お留守守の場合には「見守り新鮮情報」などのちらしをお配りしています。その際何かお困りごとがあった場合には、地域包括支援センターや安佐南区役所の関係機関に連絡して対処してもらっています。

「あいさつ運動」ということでは、原則毎月の第三月曜日の朝、地域のそ

れぞれの通学路で皆さんにあいさつしながら、小中学生の皆さんが安全に通学できるよう補助しております。

生後2、3か月の赤ちゃんがいっぱいやるお母さんには、乳幼児の「こんにちは赤ちゃん事業」ということで、お宅を訪問して、保健センターから預かった育児関連の資料をお渡ししたり、簡単なアンケートに答えたいと思っています。

社会福祉協議会の「いきいきサロン」や「サロン百歳体操」、「敬老フェスティバル」、また、学区防犯組合の「防犯パトロール」や「防犯講習会」、さらに青少年健全育成連絡協議会の「地域清掃活動」に、「盆踊り」や「とんど」などの地域の行事にも手分けをして参加し、お手伝いをしております。

各委員は、「児童福祉部会」「高齢者福祉部会」「障がい者福祉部会」「生活福祉部会」の四つの部会に所属し、年に数回の研修や施設見学などに参加して、見識を高める努力もしています。

毎月一回、原則第四月曜日に「定例会」として全員が祇園西公民館に集まり、区役所の職員さんご出席のもと、2時間程度かけて行事や日程の確認をしたり意見交換をして、委員同士助け合いながらいろいろな取り組みを行っています。

以上、大まかに私たちの任務を紹介させていただきます。



【民生委員・児童委員のマーク】

幸せのめばえをしめす
四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員をしめす双葉を組み合わせた、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕をあらわしています。

介させていた
だきました
が、民生委員・
児童委員の活
動は職業では
なくボランティアとして、各委員無理のない範囲でやらせていただいています
ので、行き届かないことも多々あると思います。何かございましたら気軽に声を掛けください。
今年は3年に1回の一斉改選の年になります。残念ながら現在数名の欠員がでている状態です。もしお手伝いいただける方や、話を聴いてみたい方がおられましたら、近くの民生委員・児童委員にお声掛けいただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いします。



祇園西公民館での定例会

委員会制を 部制に移行

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭男

これまで山本学区社会福祉協議会の事務局は、総務、福祉活動、ボランティアバンク運営、広報、福祉のまちづくり、ICTの六つの委員会を組織し、活動してきました。

25年度から、これらを総務、福祉活動、広報の三つの部に再編し活動することになりました。福祉のまちづくり委員会は、やまもと LMO まちづくり委員会に、ICT委員会は広報部に、ボランティアバンク運営委員会は福祉活動部に移行します。それぞれ、スタッフが少ないことと次の担い手が育たないことを考え、組織を整理、統合することになりました。

総務部の取り組み

- ①コミュニティカレンダーの発行（毎月一回）
- ②相談窓口の開設（水・木・金の9時30分～11時30分、他日は留守番電話で対応）
- ③防犯青色回転パトロールによる見回り活動（毎日、14時30分～16時）
- ④敬老フェスティバル・やまもとふれあい祭り

れあい祭り（11月22日）

- ⑤「8・20 やまもといのちをつなぐ集い」の開催
- ⑥要望書の作成・提出
- ⑦TOMOS FESの後援
- ⑧赤い羽根共同募金街頭募金活動
- ⑨広島経済大学興動館プロジェクトの連携
- ⑩田子ノ浦部屋との交流

福祉活動部の取り組み

- ①いきいきサロン
山本集会所（毎月第4土曜日10時～）
第二東亜ハイツ集会所（毎月第2土曜日10時～）
- ②サロン百歳体操（毎週水曜日10時～）
山本集会所。リモートにより各個人宅・丸子集会所・サンキウエルビィ・春日野園で実施）
- ③ボランティアバンクの運営
相談窓口 水・木・金曜日
9時半～11時半
・草刈り作業等
・車いすの貸し出し・返却
- ④「安心ネット山本」の取り組み
- ⑤「ふれあいカフェやまもと」の運営
- ⑥「ふれあいみゅーじっくサロン」の運営
- ⑦「ふれあいすまほスクール」の開催
- ⑧介護施設の運営推進会議に出席

広報部の取り組み

- ①「社協やまもと」の発行（年2回7月、1月）
 - ②ホームページの更新
- 今現在、山本学区社協の役員は25人です。枠割り分担をして、全員で「まちづくりプラン」の実現のために努力をしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

8・20やまもといのちをつなぐ集い

山本学区社会福祉協議会

会長 小堀 昭男

24年6月20日、中国新聞朝刊に「兄弟の犠牲胸に防災教育つなぐ」との記事が掲載されました。8月21日には「10年 家族の犠牲伝えた夏」の記事が載りました。

14年8月20日の土砂災害で11歳と2歳の兄弟を奪われた母親と、広島土砂災害後に誕生した娘さんの想いを伝える内容でした。

14年以降、広島経済大学興動館の「武田山まちづくりプロジェクト」のメンバーが毎年、熊岡神社（イオンの北側）で、災害の事を忘れず、防災の意識を高めるための追悼行事を

継続してきています。山本学区として23年から参加していますが、これまで山本地区として何もしてこなかった、何かしなければという思いがあり、25年8月19・20日にこの「集い」を開催することにしました。

山本の災害を振り返ってみれば、21年8月の豪雨災害がありました。山本小学校は2週間という長きにわたって、避難所として開設されました。

また、約百年前の1926年9月11日、西山本に山津波、山崩れ、それに伴う洪水が発生し、24人が亡くなられています。

山本に住む者として、これらの災害のことを忘れず、二度と犠牲者を出さないために何ができるのかを考え、行動していくための契機にしたいと思います。

つきましては、この「集い」のための冊子を作成しました。読んでいただき、この「集い」に参加していただきたいと思います。



満員御礼の山本集会所

盛り上がった 自主防災訓練

寺山自治会 会長 田中 潤

2025年6月1日、春の一斉清掃を終えた日曜日の11時、第九公園の木陰に集結した防災訓練ウォークラリーの一行は、11時30分過ぎに山本集会所に到着。80人（内子ども17人）の老若男女が、広島市の補助金5万円を原資に、集会所での避難所生活を体験した。

開会宣言に続き、非常食（アルファ化米と串付きウインナー）の準備に取り掛かっている間に、防災訓練の開催に御尽力頂いた安佐南区役所のスタッフの方々、安佐南消防署祇園出張所の山内所長、水野市議、灰岡県議、自主防災会連合会の岡野会長、連合自治会の古川会長、山本学区社



ウォークラリーに出発。警戒区域に、古墳や遺跡など新たな発見があった。

協の小堀会長、古川・青木防災士を始めとした防災士の方々、子ども会の保護者の方々、自治会三役などを紹介した。平素は縁遠くても、いざという時は、最も頼りになる方々だ。

試食会の後は、アドバイザーの話に防災知識を学び、段ボールベッドの組み立てでは、昨年の避難訓練を体験した子どもたちが、その実力を発揮した。小さな子どもたちには、玄関前に綿菓子とボールすくいのブースを設け、盛りだくさんの内容となった。

後日、アンケートと反省会での意見をとりまとめ、締めくくった。

ぶっつけ本番の避難訓練だったが、何より子どもから高齢自治会員まで、皆さんが和気藹々と、協力し合いながら行った、ふれあいの場になったことが一番の収穫であった。また、嬉しいことにこのタイミングで、自治会員2世帯と子ども会1人の新たな入会があったことを報告したい。

第1回やまもと ふれあい祭り

実行委員長 古川 直輝

やまもと LMO まちづくり委員会が昨年4月に発足し、当初より地域の課題（自治会入会者の減少、防犯、防災、福祉）に取り組んできました。まちづくりを行う上で、地域住民が一堂に集まり親睦を深める事で、持続可能なコミュニティが実現できると考え、「やまもとふれあい祭り」を企画しました。

また、例年9月中旬に「敬老フェスティバル」を開催していましたが、近年の猛暑で参加者の健康面が心配されることから、ふれあい祭りの中で行うことにしました。

子ども・大人・高齢者と幅広い年齢層の方々が、一堂に会する事で新しいコミュニケーションが生まれることを期待しています。

日時／令和7年11月22日（土）10時～場所／催し物／山本小学校

「体育館」▼敬老フェスティバル
▼各種団体・個人によるステージ「グラウンド」▼飲食店▼イベント
「教室」▼各種団体のPR・作品展示
現在、企画進行中です。皆様のご来場をお待ちしています。

ふれあいカフェ やまもと

祇園・長束地域包括支援センター 牧村 三由紀

4月8日（火）に「ふれあいカフェやまもと」がオープンしました。今後の更なる高齢化に伴い、認知症の方の増加も予想されることから、山本学区社協・やまもと LMO まちづくり委員会の皆様を中心となって「認知症カフェ」を立ち上げられました。

ここは「やまもと福祉のまちづくりプラン」の一環として作られた空間で、認知症の有無にかかわらず、馴染みの関係を作り、支え合い、ふれ合い、学び合い、困った時には気軽に相談できる場所です。

地域にお住まいの方、会話をする機会が減った方、介護にお悩みの方、認知症の方やご家族どなたでも参加できます。時には肩の力を抜いて、ホッと一息つかれませんか？



ふれあいカフェの様子

毎月第2火曜日9時半に山本集会所で、おいしいコーヒーを準備してお待ちしております。

連絡先 082-521-1008

令和6年度収支決算報告書並びに令和7年度予算

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	6年度予算	6年度実績	摘 要	7年度予算	摘 要
前年度繰越金	444,916	444,916	現金 41,161 市農協 392,205 郵便局 11,550 444,916	323,000	現金 91,908 市農協 219,541 郵便局 11,551 323,000
会費	555,000	555,300	300x1,851世帯 ※前年実績 580,500 1,935世帯 (84世帯減)	540,000	300x1,800世帯 ※前年実績 555,300 1,800世帯 (51世帯減)
助成金	1,251,000	1,213,430	市共同募金実績割分 104,430	1,478,000	広島市補助金 0
			新・福祉のまちづくり総合推進事業 150,000		運営費助成(上乗せ交付分) 0
			広報紙発行助成金 60,000		市共同募金実績割分 105,000
			コミュニティカレンダー発行助成金 30,000		新・福祉のまちづくり総合推進事業 150,000
			取り組み活性化事業助成 50,000		広報紙発行助成金 60,000
			ブロック連絡会推進事業 15,000		コミュニティカレンダー発行助成金 30,000
			活動拠点整備助成金 30,000		取り組み活性化事業助成 50,000
			地域団体連携支援基金事業費助成金 500,000		ブロック連絡会推進事業 15,000
			活動拠点活性化支援事業(4月～2月) 274,000		活動拠点整備助成金 30,000
					認知症カフェ運営事業(7月～3月) 90,000
LMO事業 助成金	450,000	800,000	やまもとLMO一括交付金	100,000	やまもとLMO一括交付金
			やまもとLMO事業費補助金	600,000	やまもとLMO事業費補助金(敬老フェスティバル)
寄付金	3,000	33,000	香典返し、謝礼金	3,000	香典返し、謝礼金
その他雑収入	36,084	36,000 72,500 210	LMO負担分(通信費年間) うちわキャンセル料、コピー機使用料 農協貯金利息	36,000 350	LMO電話・WiFi使用料 農協貯金利息
合 計	2,740,000	3,155,356		3,080,350	

2. 支出の部

科 目	6年度予算	6年度実績	摘 要	7年度予算	摘 要
運営費	61,000	88,918		75,000	
会議費	43,000	32,450	役員会、各委員会、まちづくりプラン進捗会議、 いのちをつなぐ集い検討会	40,000	役員会、各委員会、その他各会議
雑 費	18,000	56,468	行動費、振込手数料	35,000	行動費、振込手数料
事務費	342,000	338,407		385,000	
印刷費	65,000	89,774	紙門松、コミュニティカレンダー、各会議資料印刷	105,000	紙門松、コミュニティカレンダー、各会議資料印刷
通信費	145,000	147,757	インターネット使用料(Zoom含む)、はがき、切手	155,000	インターネット使用料(Zoom含む)、はがき、切手
文具費	64,000	49,011	コピー用紙、封筒等事務用文具類	60,000	コピー用紙、封筒等事務用文具類
消耗品費	68,000	51,865	A3型プリンター大容量インクなど	65,000	A3型プリンター大容量インクなど
福祉事業費	688,000	729,303		1,645,000	
福祉費	380,000	466,882	敬老フェスティバル関連費用	1,240,000	敬老フェスティバル関連費用
いきいきサロン	153,000	127,411	サロン「219,933円・112,250円(自己負担)」、 行事保険料、会場費、講師への謝礼金	130,000	サロン活動費、行事保険料、第二東亜サロン助成ほか
サロン百歳体操	100,000	99,910	山本・丸子集会所会場費、行事保険料、案内ハガキなど	100,000	山本・丸子集会所会場費、行事保険料、案内ハガキなど
認知症カフェ	0	0		90,000	ふれあいカフェやまもと (講師謝礼金、会場費、印刷費他)
ボランティア活 動費	55,000	35,100	事務所使用料(集会所2万円)、行動費、ボランティ ア保険料ほか	85,000	事務所使用料(集会所2万円)、公衛協助成金、 ボランティア保険料ほか
広報費	256,000	218,900	広報紙「社協やまもと」120、121号発行費用	220,000	広報紙「社協やまもと」122、123号発行(各3200部)
備品等購入費	530,000	503,828	音響機器:500,000円、鍵付きレターケース	100,000	音響機器等を収納する備品購入費、他
活性化事業費	296,000	298,000	活動拠点活性化事業費、開設回数149回	308,000	活動拠点活性化事業費、開設回数154回
研修費	3,000	0	合同研修会、	3000	研修会等
団体助成金	160,000	510,000	やまもと福祉まつり支払10万円、盆踊り実行委員会 支払25万円、青少協、子育てサークル、盆踊り大会 各30,000、防犯組合50,000、連合睦会20,000	160,000	防犯組合50,000、青少協、子育てサークル、 盆踊り大会各30,000、連合睦会20,000
負担金	121,000	115,000	区社協会費(50円x1980世帯=99,000)、区民 祭り15,000、祇園西公民館まつり協賛金1,000	116,000	区社協会費(50円x2000世帯=100,000)、区民 祭り15,000、祇園西公民館まつり協賛金1,000
予備費	30,000	30,000	義援金(能登半島地震災害)	30,000	能登半島地震義援金
次年度繰越金	253,000	323,000	現金91,908、市農協219,541、郵便局11,551	38,350	
合 計	2,740,000	3,155,356		3,080,350	

令和6年度事業実施報告及び令和7年度事業計画

2024年度 行事報告	2025年度 行事予定
◆『第2次やまもと福祉のまちづくりプラン』 (5カ年計画)2年目の取り組み ◆やまもとLMOまちづくり委員会 連携の強化 防犯、防災、各行事、情報の発信と共有の取り組み ◆「地域団体連携基金」の運用 社協全体で使用する音響機器を購入 ◆「拠点活性化事業」(相談窓口の開設) 相談者を増やす スタッフの学習会の開催 ◆TOMOS FESの後援 8月31日(土) (祇園学区社協と)(雨天のため、中止) ◆敬老フェスティバルの開催 9月14日(土) ◆広島経済大学興動館プロジェクトとの連携 ・「災害を知り未来へつなごう」 ・「武田山まちづくり」 ・「コミュニティFM放送局運営」 三つのプロジェクトメンバーとの交流 ◆事務局体制の整備 委員会のスタッフの増員 事務局員の増員	◆『第2次やまもと福祉のまちづくりプラン』 (5カ年計画)3年目の取り組み ◆やまもとLMOまちづくり委員会 連携の強化 防犯、防災、各行事、情報の発信と共有の取り組み ◆「拠点活性化事業」(相談窓口の開設) 相談者を増やす スタッフの学習会の開催 ◆「8.20やまもといのちをつなぐ集い」の開催 ◆TOMOS FESの後援 8月30日(土) (祇園学区社協と) ◆やまもとふれあい祭り 敬老フェスティバルとの同時開催 11月22日(土) ◆広島経済大学興動館プロジェクトとの連携 ・「災害を知り未来へつなごう」 ・「武田山まちづくり」 ・「コミュニティFM放送局運営」 三つのプロジェクトメンバーとの交流 ◆田子の浦部屋との交流 ◆「ふれあいカフェやまもと」の運営 ◆事務局体制の整備 事務局員の増員 各部スタッフの増員
各委員会の活動	各部の活動(委員会制を部制に移行)
◆総務(コミュニティカレンダーの発行、 安心ネット山本、相談窓口、敬老フェスティバル) ◆福祉活動(いきいきサロン、サロン百歳体操) ◆ボランティアバンク運営(電話受付、作業) ◆広報(社協やまもとの発行) ◆福祉のまちづくり (区政懇談会⇒あさみなミーティング) ◆ICT(ホームページの更新)	◆総務部(コミュニティカレンダーの発行、 相談窓口、やまもとふれあい祭り・ 敬老フェスティバル、要望書の作成、 田子の浦部屋との交流) ◆福祉活動部(いきいきサロン、サロン百歳体操、 ボランティアバンクの運営、安心ネット山本、 ふれあいカフェやまもと) ◆広報部(「社協やまもと」の発行、 ホームページの更新)

(_____ は、新規事業)

令和七年度 役員名簿

山本学区社会福祉協議会

会長（福祉活動部長） 小堀 昭男
副会長（地域コミュニティ活性化担当） 藤田 浩

副会長（事務局長兼会計）

事務局次長 舛田 光司
地域福祉推進委員 兼 沖野 公二

ボランティアバンク運営部長

総務部長 大江 敏則
要望書作成専門部長 古川 直輝

広報部長 谷口 正行
総務部長 古川 宗夫

福祉活動推進部長 前辻 博文
山本 公子

ボランティアバンク推進部長 坂本 牧子
田中 啓子

推進部長 宮地 正彦
尼子 一高

沈 美江
四方 夕子

中田 秀穂
曾根 満男

岡野 康紀
森本 勝義

谷川 正徳

監事

山本学区関係各種団体長

民生委員児童委員協議会会長

連合自治会会長

防犯組合組合長

自主防災会連合会会長

体育協会会長

公衆衛生推進協議会会長

連合睦会会長

青少年健全育成連絡協議会会長

山本子ども会育成会会長 谷口 正行
祇園中学校PTA会長 渡辺 菜穂

山本小学校PTA会長 前田 大輔

山本幼稚園PTA会長 小山 純平

山本保育園PTA会長 渡辺 菜穂

山本保育園PTA会長 前田 友紀

やまもとLMOまちづくり委員会

会長

副会長

小堀 昭男
古川 宗夫

事務局次長 舛田 光司
沖野 公二

事務局員
事業推進委員

監事

四方 夕子
曾根 満男
岡野 康紀
谷口 正行
渡辺 菜穂
大江 敏則
尼子 一高

優勝・入賞 おめでとうございます

第16回あさみなみっ子ドッチビー大会に、山本アストロズと山本レンジャーズの2チームが出場し、それぞれ優勝と3位入賞を果たしました。



ドッチビー大会のトロフィーと賞状

安佐南区区民スポーツ大会に、山本体協の各種クラブが出場し、卓球部とソフトテニス部が優勝と3位入

賞を果たしました。

優勝/卓球部

3位/ソフトテニス部

卓球部は、10月12日開催の広島市スポーツレクリエーションフェスティバルに参加します。頑張れ!!

これからの 地域の催し物

FM放送開始 79Hz/ 7月7日より

盆踊り大会/8月2日(予備日3日)

8・20やまもといのちをつなぐ集い/

8月19・20日

TOMOS FES/ 8月30日

神楽・秋祭り/ 10月18・19日

祇園西公民館まつり/ 11月8・9日

敬老フェスティバル/ 11月22日

やまもとふれあい祭り/ 11月22日

町内美化ボランティア/ 12月6日

とんど焼き/ 1月11日

寄付

山本四丁目 玉田 とも子様
匿名 1名様

ご厚志に対し、心よりお礼申し上げます。福祉活動のために有意義に活用させていただきます。